

社会科学学習指導案

1 単元名 戦国時代と天下統一

2 考察

(1) 教材観

① 学習内容：現行の学習指導要領上の位置づけ

- ・本単元は、学習指導要領第6学年の目標(1)「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めようとする」とともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。」に関する内容(1)ウ「キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。」に基づいて設定した。

② 主な伸ばしたい資質・能力

- ・戦国時代の様子や戦国の世に活躍した織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の武将について関心をもち問題意識をもって意欲的に調べ追究する態度。
- ・天下統一に関わった織田信長、豊臣秀吉、徳川家康のはたらきや代表的な文化遺産などについて考え表現する力。
- ・3人の武将の功績や戦国時代の様子について、絵図や文書資料、年表、地図などの基礎的資料を効果的に活用して具体的に調べ、目的に応じた方法で分かりやすくまとめる技能。
- ・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まりについて調べ、戦国の世が統一されたことを理解する力。

③ そのために必要な指導・学習活動

- ・長篠合戦図屏風や3人の武将の性格を表す資料などから疑問に思ったところや調べたいことなどをもとに単元の課題を設定する。
- ・解決の見通しがもてるように、追究内容や方法、学習計画を明確にする。
- ・単元の課題を解決するために、単位時間ごとに設定しためあてを追究する。
- ・単位時間ごとに学習してきたことを基に話し合い、単元の課題についてまとめる。

④ 今後の学習の活用

- ・徳川家康のあと、どのような政策が行われ江戸幕府が長く安定した世の中にしていったのかを学習していく。

(2) 児童の実態及び指導方針(計〇名)

① 既習の学習内容や活動

- ・「狩猟・採集や農耕の生活」の学習では、縄文時代と弥生時代の生活の様子を比べるために、「衣・食・住・道具・人」の5つを調べる観点として提示し追究してきた。そして、調べたことをもとにして、縄文時代から弥生時代へどのように変化してきたかをまとめてきた。「国の統一」の学習では、大仙古墳の大きさや総工費などの資料をてがかりに、「なぜ巨大な古墳をつくることができたのか」という課題をたてた。そして、教科書や資料集などを使い調べ、大和朝廷による国土の統一の様子について話し合いによってまとめてきた。
- ・「天皇中心の政治」の学習では、聖徳太子のエピソードや肖像画から、聖徳太子の取組について調べ、太子の死後に蘇我氏が勢力を強めた資料から、中大兄皇子らがどのように天皇中心の国作りをしていったかをノートにまとめてきた。「日本風の文化」の学習では、平安時代の貴族や藤原道長に関する資料から、「貴族はどのようなくらしをしていたか」という単元の課題をたてて追究し、仮名文字などの日本風の文化が生まれたことを理解してきた。
- ・「武士による政治」の学習では、平清盛、源頼朝、源義経の肖像画や、「平家物語絵巻」の、武士に道を譲る貴族の資料などから「なぜ武士が力をもつようになったのか調べよう」という単元の課題をたてて、追究してきた。源平の戦いや源頼朝の業績などについて調べて、武士がどのように力をもち政治を行うことになったかをフィッシュボーン図を使いまとめてきた。

② 児童の実態

- ・これまでの学習から、日本の歴史に興味をもち、意欲的に学習に取り組んでいる児童は多い。黒曜石や石包丁(レプリカ)のような具体物などの資料に対する興味も高い。絵図や地図などの資料から必要な情報を読み取れる児童も多い。反面、教科書や資料集など情報量が多すぎるためどこを見ればよいか分からない児童が5名ほどいる。さらに、資料などから情報を読み取ることは

出来ても、それらの情報を使ってまとめることを苦手とする児童も同程度いる。

③指導方針

【「つかむ」過程】

- ・火縄銃の登場によって、これまでの戦い方が弓矢や刀などの戦いから鉄砲を大量に使う戦いに変ったことを捉えられるように、長篠合戦図屏風の資料を提示して、織田連合軍と武田軍の戦い方を比較する。
- ・児童自ら主体的に調べようとする意欲を高められるように、児童の疑問や調べたいことをもとに単元の課題を設定する。

【「追究する」過程】

- ・3人の武将の取組や業績を調べられるように、それぞれに調べる観点を提示する。
織田信長…政治、海外との関わり
豊臣秀吉…政治、海外との関わり
徳川家康…政治、海外との関わり

【「まとめる」過程】

- ・「戦国時代と天下統一」の学習でたてた単元の課題をまとめられるように、3人の武将について誰が一番貢献したかについて話し合う。その際、3人の中からひとりを選ぶ視点として、「誰が一番天下太平の世にしたのか」を示して、選択した理由を述べられるようにする。

【わかりやすくする支援】

- ・つかむ過程で、長篠合戦から江戸幕府が開かれるまで28年であることを確認する。その際、児童にとって28年という数字は長く感じると予想される。そこで、前時に室町時代の途中から100年あまり世の中が乱れたことを学習する時に、100年という数量を矢印にして視覚的に捉えやすくする。そして、本時に4分の1の長さの矢印を用意することで、28年という数量を短いものだと捉えやすくする。
- ・ワークシートを使用するときには簡条書きしやすいように、罫線を引く。また、資料から複数のことに気づけるように、「・」を用いる。

3 単元の目標

- ・キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉の天下統一、徳川家康の江戸幕府の始まりについて調べ、戦国の世が統一されたことを理解できるようにする。
- ・織田信長・豊臣秀吉・徳川家康などの人物や、戦国の世が統一されていくころの様子について関心を持ち、意欲的に調べ、考えながら追究することができるようにする。
- ・織田信長・豊臣秀吉・徳川家康・徳川家光の功績や当時の様子を、肖像画や人物年表、エピソードなどの資料を効果的に活用し、それらの時代の人々のはたらきを考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

4 評価規準

社会的事象についての 関心・意欲・態度	社会的事象についての 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
戦国時代の様子や戦国の世に活躍した3人の武将について関心を持ち問題意識をもって意欲的に調べている。	天下統一に関わった織田信長、豊臣秀吉、徳川家康のはたらきや代表的な文化遺産などについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。	3人の武将の功績や戦国時代の様子について、絵図や文書資料、年表、地図などの基礎的資料を効果的に活用して具体的に調べ、目的に応じた方法で分かりやすくまとめている。	キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まりについて調べ、戦国の世が統一されたことを理解している。

5 指導計画（全7時間予定）

学習過程	時	○ねらい ・学習活動	指導上の留意点	評価の観点			
				関	考	技	知
つかむ	1 本時	○長篠合戦図屏風などの資料を手がかりに、武士の対立から天下統一した人物について疑問や調べたいことをもとに、単元の課題をたてることができる。 ・長篠合戦図屏風や、3人の武将に	・年表を確認して、長篠合戦から江戸幕府を開くまで28年しか経っていないことに気づかせる。 ・資料などから疑問に思ったことや調べてみたいことなど、児童の言葉で単元の課題を設定する。	○			○

		<p>ついて話し合い、学習課題をたてる。</p> <p>単元の課題</p> <p>3人の武将によって、どのように天下統一されていったのか調べてまとめよう。</p>				
追究する	2～5	<p>○3人の武将の業績や天下統一への動きについて、さまざまな資料をもとに調べる。</p> <p>・織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の政策や取組などを教科書や資料集、図書資料の本などから調べまとめる。</p>	<p>・3人の武将の業績が調べられるように、それぞれ調べる観点を提示する。</p> <p>「織田信長」 …政治、海外との関わり</p> <p>「豊臣秀吉」 …政治、海外との関わり</p> <p>「徳川家康」 …政治、海外との関わり</p>			○ ○
まとめる	6～7	<p>○単元の課題について、結論をまとめることができる。</p> <p>・調べてきたことをもとに3人の武将の中で誰が一番、天下統一の事業に貢献したか話し合う。</p>	<p>・3人の武将の中から選ぶことができるように選ぶ視点を提示する。</p> <p><選ぶ視点></p> <p>「だれが一番世の中を安定させたか」</p> <p>・自分の考えを述べるができるように、定型文を用意する。</p>			○ ○

6 本時の展開 (1/7)

- (1) **ねらい** 長篠合戦図屏風などの資料を手がかりに、武士の対立から天下統一した人物について疑問や調べたいことをもとに、単元の課題をたてることができる。
- (2) **授業改善の視点** 長篠合戦から江戸幕府が開かれるまでの期間が28年しかなかったことを年表で確認させたことは、単元の課題の解決への意欲を高めることに有効であろう。
- (3) **人権教育の視点** **実践力**：資料から感じる気づいたことや疑問は、一人一人違うことに気づき、友達の意見を大切にすることができる。
- (4) **準備** 織田信長戦地本陣跡の写真 皇居の写真 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の肖像画
長篠合戦図屏風 江戸城図屏風
- (5) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1, 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・長篠というところで戦いがあったのだな。</p> <p>・皇居は昔、城だったんだな。</p> <p>・織田信長は聞いたことがあるな。</p> <p>・新しい単元の課題を設定するのだな。</p> <p>めあて</p> <p>戦国時代の資料から疑問や調べたいことを話し合い、単元の課題をたてよう。</p>	5	<p>・現在の長篠設楽が原の写真を提示し、さらにその写真の上に、長篠合戦図屏風を重ねることで、過去に大きな戦いがあったことに気づけるようにする。</p> <p>・皇居の写真を提示して、その上に江戸城図屏風を重ねることで、以前に城があったことに気づけるようにする。</p> <p>・織田信長、豊臣秀吉・徳川家康の肖像画を提示して3人の名前を確認する。</p> <p>・これまでの学習を想起させて、本時のめあてを児童の言葉を使ってたてる。</p>
<p>2, 戦国時代に関わる資料をもとに気づいたことや疑問に思うことなどを考える。</p>	15	<p>・ICTを活用して、資料を拡大したり、範囲を限定したりして見る視点を明確にする。</p> <p>・資料から気づかせたい箇所に、赤や青の丸い枠を</p>

<p>○「長篠合戦図屏風」と「江戸城図屏風」を見て、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚目と2枚目の様子は違うな。 ・ 弓矢や鉄砲などを使っているな。 ・ 柵や鎧を着た人もいるな。 ・ 2枚目は、戦っていないよ。 <p>○長篠合戦と江戸幕府を年表で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たったの28年しか経っていない。 		<p>どで囲む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人々の様子」や「お城の周りの様子」に着目させることで、長篠合戦図屏風は戦いの様子、江戸城図屏風は平和な様子に気づけるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年表を確認して、長篠合戦から江戸幕府を開くまで28年しか経っていないことに気づかせる。 ・ 28年という数字に驚きを持てるように、前時の学習で用いた100年を表した矢印と28年の矢印を比べる。
<p>3, 学級全体で戦国時代の資料から疑問に思ったことや調べたいことを共有していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ25年で、戦国の世の中は終わったのだろうか。 ・ 織田、豊臣、徳川はどのようなことをしたのだろうか。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料から、疑問に思ったことや調べたいことなどをノートに記述させる。 ・ 児童の疑問に思ったことや調べたいことなどを黒板に板書して学級全体で共有できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦国の世の中と統一について関心をもち、気づいたことをノートに記述している。 <p><ワークシート></p> </div>
<p>4, 単元の課題をたて、学習のふりかえりをする。</p> <p style="text-align: center;">単元の課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>3人の武将によって、どのように天下統一されていったのか調べてまとめよう。</p> </div>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 板書をもとに単元の課題を設定する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3人の武将についてそれぞれ調べていくのだな。 ・ 3人は、どのようなことをして天下を統一したのか知りたいな。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 追究の見通しがもてるように、学習の計画を確認する。

7 板書計画

